

【算数】

<学習内容>

◆折れ線グラフ（教科書49ページ～52ページ）

(1) 教科書49ページにある「5月15日の気温調べ」を見て、教科書に折れ線グラフをかいてみよう。

(2) 教科書50ページにある「5月16日の気温調べ」を見て、教科書に赤鉛筆で折れ線グラフをかいてみよう。

点や直線の色を変えると、2つのグラフが区別しやすくなるよ。



2つの折れ線グラフが重なるよ。

(3) 重なった2つの折れ線グラフを見て、気付いたことを、ノートか取組シートに書こう。

<時間があったらやってみよう>

(4) 教科書52ページにあるハムスターの体重を、Ⓐのグラフ用紙とⒷのグラフ用紙を参考にして、ノートか取組シートに折れ線グラフをかいてみよう。重なった2つの折れ線グラフを見て、気付いたことを、ノートか取組シートに書こう。

<保護者による関わり方のポイント>

◆折れ線グラフ（教科書P49～52）

- ・グラフの正しい書き方を覚えることももちろん大切ですが、「数値に合ったグラフの縦軸・横軸の目盛りを考える」、「変化のちがいを考える」等、子どもがグラフを見て考えることがとても大切です。
- ・今週は、折れ線グラフを何回かかきますが、学校再開後に授業でも扱いますので、子ども自身でかいてみるという姿勢を大切にしてください。

※インターネット上にある「まなびリンク『折れ線グラフツール』」で、折れ線グラフをつくることもできます。

（教科書の4ページに、QRコード・HPアドレスがついています。）